



オンラインでもアンケートのご回答が可能です。左記QRコードよりご利用ください。



東京文化会館の取り組み

あらゆる人が
音楽で交流できる社会をめざして

東京文化会館ではアートによる多元共生社会の実現に向けて、アートが持つ「創造性」「協調性」「参加性」を活かし、社会的課題に向き合いながら、人々の生活の質(QOL)の向上や共生社会実現につながる様々な取り組みを行っています。年齢や障害、社会的ハンディキャップのあるなしにかかわらず、あらゆる人々が音楽鑑賞や音楽創造体験に参加できる機会の提供や、多くの人々が新たな文化創造に主体的に関わることができる環境の整備に向けた取り組みを大切にしています。

Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩な公演を実施する《Enjoy Concerts!》、海外の芸術機関や国内外の教育・社会福祉機関等と連携した《Workshop Workshop!》、そのほかの教育普及プログラムを《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向けて発信していきます。



atelier enjuku

TOKYO SOCIAL DESIGN

ここは様々な人たちが集まり、自分の好きなことを表現するアトリエです。今回もコンサートの内容に沿ってイラストを描きました。

<https://tokyosocialdesign.jp>

主催：東京都／東京文化会館（公益財団法人東京都歴史文化財団）

共催：公益財団法人立川市地域文化振興財団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会

一般財団法人地域創造



Open Access to Culture Project



65th Anniversary



オーケストラと
音楽の動物園に出かけよう

TOKYO BUNKA KAIKAN

Relaxed
Performance

リラックス・パフォーマンス

世代、障害をこえて楽しめるコンサート

令和8年

2026.6.14 日 15:00 ~ 16:00 ※休憩なし

たましんRISURUホール（立川市市民会館）大ホール

とうきょうぶんかかいかん 東京文化会館 リラックス・パフォーマンスへようこそ!

リラックス・パフォーマンスの

「リラックス relaxed」は“寛容な”という意味。

少し音をたてても、身体が動いても、大丈夫。

発達障害や自閉症などでホールでの音楽鑑賞に不安がある方も、

耳の聞こえない方や聞こえにくい方も、

一緒に音楽を楽しめるように、様々な工夫をしています。

たとえば…



受付に手話通訳者がいます。舞台上にろうナビゲーターがいます。



客席の照明を完全に暗くしません。



上演中に休憩が必要な場合、客席の外に出て休憩できます。途中で席に戻ることもできます。



自席に戻りづらい場合や、一時的に席を移動したい場合等に座れるフリーエリアがあります。



気持ちを落ち着けたい方のためのカームダウンスペースがあります。



ヒアリングループ（集団補聴システム）や音を振動に変換するツール（タッチ・ザ・サウンド・ピクニック）、字幕タブレット、視覚を支援するツール（レティッサオンハンド）があります。イヤーマフやフィジエットイ、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストの用意があります。

ご注意ください

ホールの中では食べたり飲んだりできません。公演の写真撮影、録音、録画はできません。

携帯電話やアラーム付き腕時計などは音の出ない設定にしましょう。

コンサートを楽しむために

コンサートが始まる前にトイレに行っておきましょう。

どうしてもトイレに行きたくなったら、他の人の邪魔にならないように、そっと行きましょう。

演奏している間は座りましょう。演奏の途中で休憩が必要になったら、そっと客席の外に出ても大丈夫です。

ステキな演奏には拍手をしましょう。演奏が終わった時に、たくさんの拍手をしましょう。

プログラム Program

- 1 チャイコフスキー：バレエ組曲『白鳥の湖』より 情景、ワルツ
- 2 アンダーソン：そりすべり
- 3 ロッシーニ：オペラ『ウィリアム・テル』序曲より 「スイス軍の行進」
- 4 リムスキー＝コルサコフ：熊蜂の飛行
- 5 サン＝サーンス：組曲『動物の謝肉祭』より 第5曲「象」
- 6 ストラヴィンスキー：バレエ組曲『火の鳥』（1919年版）より
 - 第5曲「魔王カステイの凶悪な踊り」
 - 第6曲「子守歌」
 - 第7曲「終曲」

TCHAIKOVSKY: Scenes, Waltz from *Swan Lake Suite*

ANDERSON: Sleigh Ride

ROSSINI: "March of the Swiss Soldiers" from Overture to *Guillaume Tell*

RIMSKY-KORSAKOV: Flight of the Bumblebee

SAINT-SAËNS: *Le Carnaval des animaux*-V. "L'éléphant"

STRAVINSKY: from *L'Oiseau de feu Suite* (1919 version)

V. "Danse infernale du roi Kastcher"

VI. "Berceuse"

VII. "Finale"

出演 Performers

指揮：園田隆一郎

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

ナビゲーター：塚本江里子（東京文化会館ワークショップ・リーダー）

ろうナビゲーター：西脇将伍

Conductor: SONODA Ryuichiro

Orchestra: Tokyo Philharmonic

MC: TSUKAMOTO Eriko (Tokyo Bunka Kaikan Workshop Leader)

Sign Language Navigator: NISHIWAKI Shogo

こんかい
今回のテーマは

いいた ありき
飯田有抄 (クラシック音楽ファシリテーター)



《音楽の動物園にオーケストラと出かけよう》

1

チャイコフスキー：

くみきよく はくちょう みずうみ じょうけい
バレエ組曲『白鳥の湖』より 情景、ワルツ

「白鳥の湖」は、悪魔の呪いで真っ白な白鳥の姿に変えられたオデット姫と、彼女に恋をした王子との物語です。〈情景〉は、二人が愛を誓う場面を描く名曲で、オーボエがやさしくせつない旋律を歌います。〈ワルツ〉は王子の誕生パーティーで流れる、華やかな3拍子の音楽です。チャイコフスキー（1840～1893）が作曲した最初のバレエ音楽です。



b

2

アンダーソン：
そりすべり

雪の中をそりが軽やかに走るようすをいきいきと描いたこの曲は、アメリカの作曲家アンダーソン（1908～1975）が作曲しました。心おどるメロディーにのって、ムチを打って馬を走らせる音も聞こえてきます。曲の終わりにはトランペットが馬のいななきをあらわす、ユニークで楽しいオーケストラ曲です。

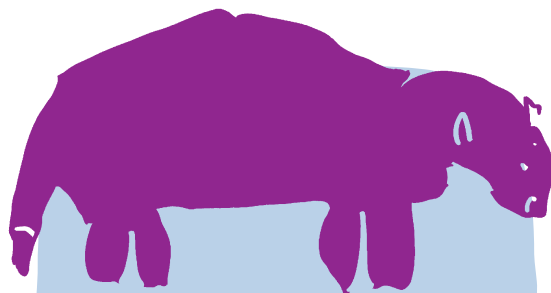


3

ロッシーニ：

オペラ『ウィリアム・テル』序曲より
「スイス軍の行進」

次も、馬がさっそうと駆けていくようなりズミカルな音楽です。19世紀イタリアを代表する作曲家ロッシーニ（1792～1868）のオペラ『ウィリアム・テル』は、弓の名人テルが悪い支配者に立ち向かうお話で、息子の頭の上ののせたリングを撃ち抜くシーンが有名です。序曲とは、オペラが始まる前にオーケストラが演奏する音楽のこと。「スイス軍の行進」は、トランペットの高らかなメロディーで始まります。



4

リムスキー=コルサコフ：

くまばち ひこう
熊蜂の飛行

今度は小さな熊蜂の登場です。魔法で「熊蜂」に変身した主人公の王子が、元気よく飛び回るシーンの曲です。ヴァイオリンやフルートが、スピーディーにメロディーを演奏し、蜂がブンブンと音を立てて飛ぶようすをいきいきと描きます。ロシアの作曲家リムスキー=コルサコフ（1844～1908）のオペラ『サルタン皇帝』の一曲です。

y



5

サン=サーンス：

くみきよく どうぶつ しやくにくさい
組曲『動物の謝肉祭』より 第5曲「象」

組曲『動物の謝肉祭』は、フランスの作曲家サン=サーンス（1835～1921）が1886年につくった、動物たちをユーモラスに描いた14曲からなる作品です。第5曲「象」では、オーケストラの中でいちばん大きくて低い音が出る弦楽器、コントラバスが主役。ゆったりと重みのあるメロディーが、大きな体をのんびりと動かす象のようすを描きます。

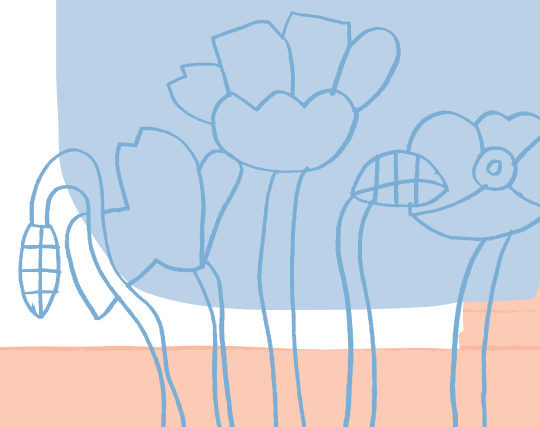
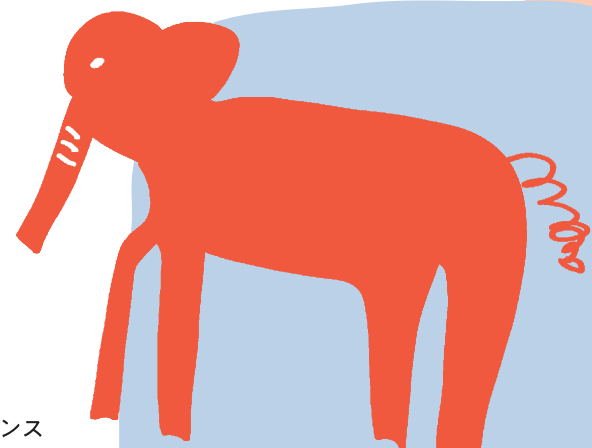


6

ストラヴィンスキー：

くみきよく ひ とり ねんぱん
バレエ組曲『火の鳥』（1919年版）より
第5曲「魔王カステイの凶悪な踊り」
第6曲「子守歌」
第7曲「終曲」

最後は、ロシアに伝わる古い民話に基づく物語にストラヴィンスキー（1882～1971）が音楽をつけたバレエ『火の鳥』の組曲から、3曲をお届けします。魔王カステイに捕らわれた王女と、怪物に捕まった王子。そこへ、かつて王子に命を救われた火の鳥が現れ、魔王を滅ぼすというストーリー。「凶悪な踊り」はバレエのクライマックス、「子守歌」はしずかな美しさ、「終曲」はふたりの幸せな結末を輝かしく描きます。



しゅつえん
出演 & プロフィール Performers Profiles

しき そのだりゆういちろう
指揮：園田隆一郎
Conductor: SONODA Ryuichiro



© Fabio Parenzan

2006年、シエナのキジアーナ夏季音楽週間『トスカ』を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団『ラ・ボエーム』を指揮して日本デビューを果たす。同年夏にはペーザロのロッシェニ・オペラ・フェスティバル『ランスへの旅』を指揮、その後もジェノヴァ歌劇場、フランダース・オペラをはじめ、フィレンツェのトスカ管弦楽団、カタニアのベッリーニ大劇場管弦楽団の演奏会を指揮。その後国内外のオペラへの出演、オーケストラとの共演を重ねている。2026年は日生劇場『ドン・ジョヴァンニ』、パシフィックフィルハーモニア東京定期演奏会などへ出演を予定している。第16回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第73回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。パシフィックフィルハーモニア東京指揮者。藤沢市民オペラ芸術監督。

つかもと えりこ
ナビゲーター：塚本江里子
(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
MC: TSUKAMOTO Eriko
(Tokyo Bunka Kaikan Workshop Leader)



© 鈴木稯蔵

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学大学院修士課程オペラ科修了。BSフジ「ポンキッキーズ」第11代目歌のおねえさんを務める。子どもの歌から、オペラ、ミュージカル、司会、ナレーター等、多彩な表現で音楽交流を実践。全国学校公演や0歳からのオーケストラコンサートなどで歌唱やナビゲーターを務める。「くちびるに歌を心に太陽を」を motto に、子どもたちに音楽の楽しさと学ぶ喜びを伝えている。特技はなわとび。

かんげんがく どうきょう とうきょうがくだん
管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団
Orchestra: Tokyo Philharmonic



© 上野隆文

1911年創立。シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者 A. バッティストーニ、特別客演指揮者 M. プレトニョフ。自主公演、新国立劇場他でのオペラ・バレエ演奏、NHK 他における放送演奏、海外公演等で注目を集める。Bunkamura オーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を、刈谷市と連携協定を結んでいる。

<https://www.tpo.or.jp/>

にしわきしやうご
ろうナビゲーター：西脇将伍
Sign Language Navigator: NISHIWAKI Shogo



東京都出身。ろう親のもとに生まれ、中学までバイリンガルろう教育を受けて育つ。高校からインテグレーションし、大学では「ろうコミュニティの必要性と危機」をベースに、多岐にわたる活動に取り組む。2023年にデファクターズ・コース修了。現在、多様な団体やプロジェクトに携わる傍ら、NHK「手話で楽しむみんなのテレビ」「みんなの手話」等、さまざまなメディアや公演に出演中。東京文化会館の「手話でバックステージツアー！」のナビゲーターも担当した。

がっき はいち Orchestral Instruments & Arrangements
オーケストラの楽器と配置

オーケストラには弦楽器、木管楽器、金管楽器、

打楽器など色々な種類の楽器がずらり。

多いときは100人以上の演奏者が一緒に演奏をすることもあって、

指揮者も欠かせません。

さまざまな音色でメロディやハーモニーが重なり合うことで、多彩な音楽が生まれます。

※楽器の並び方（配置）は曲や演奏会によって変わります。

